

越谷市本庁舎整備審議会 第2回会議 会議録	
開催日時	平成25年6月27日(木) 13:30~15:15 〔市庁舎内見学(希望した委員のみ) 15:30~16:00〕
開催場所	越谷市中央市民会館4階 第16~18会議室
出席者等	出席委員(16名) 積田会長、浅見会長職務代理者、名倉委員、田中委員、加藤委員、 福田委員、高橋委員、竹内委員、金子委員、野口委員、中村委員、 坂崎委員、船山委員、大塚委員、會田委員、村田委員 欠席委員 山田委員、松本委員、渡辺委員 事務局 青山総務部長、江原総務部副部長、藤浪総務部副参事(兼)総務管 理課長、中山総務管理課副主幹 総務管理課：齊藤副主査、齋藤主事 傍聴者 1名
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 報告事項 (1) 第1回会議における確認事項について 4 議事 (1) 庁舎の現状と課題の把握について (2) 庁舎に必要な機能や使いやすい庁舎の検討について (3) 先進地視察について 5 その他 6 閉会
会議資料	・越谷市本庁舎整備審議会委員名簿【資料1】 ・第1回会議における質問事項及び確認事項【資料2】 ・上位関連計画・位置づけ・計画条件・現庁舎の課題【資料3】 ・本庁舎に必要な機能や使いやすい庁舎の検討【資料4】 ・先進事例【資料5】
審議等 の内容	別紙・会議録(要旨)のとおり
<p>【合意・決定事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎に必要な機能や使いやすい庁舎の検討については、引き続き次回以降の会議で審議する。 ・先進地視察の視察先選定及び日程については、会長に一任することとした。 ・次回の会議は、10月1日の開催を予定する。 	

会議録（要旨）

1 開 会

- ・事務局から、議会選出委員として福田委員が新たに審議会委員となったことについて報告した。

2 会長あいさつ

- ・第1回会議で市長から諮問があった。これを受け、今回から具体的な検討を進める。本日は庁舎の現状や課題の把握、庁舎に必要な機能等についてご審議いただく。率直なご意見、ご提言をお願いしたい。

3 報告事項（議長：積田会長）

- ・第1回会議での質問事項に対する確認結果等について、資料2に基づき事務局から報告した。

〔報告概要〕①職員数については、非常勤職員及び臨時職員を含めた職員数（平成25年4月1日現在）について資料のとおり報告する。②本庁舎地下の利用方法については、平面図を掲載したので参照願いたい。併せて、本庁舎及び第二庁舎の全ての階の平面図、平成24年度に基本設計を行った（仮称）第三庁舎の平面図（案）を掲載している。③首都圏直下型地震等が発生した場合の荒川の津波遡上（そじょう）については、埼玉県へ確認したところ、調査中のため公表段階に無いとのことであった。県から今後、数値等の公表があれば報告したい。

〔議長〕ただいまの報告事項の説明について、ご質問等がありますか。

〔委員〕③については調査中ということだが、用途は示されているのか。

〔事務局〕埼玉県からは時期までは聞いていない。

〔委員〕参考資料として（仮称）第三庁舎の平面図（案）が示されているが、建設予定場所は。

〔事務局〕第二庁舎の西側に建設予定である。

〔委員〕職員数の記載があるが、非常勤職員及び臨時職員の勤務形態はフルタイムか。

〔事務局〕ほぼフルタイムである。

〔委員〕通常、来庁者数はどれくらいなのか把握しているか。

〔事務局〕来庁者数は時期によって変動があるが、平均すると1日あたり2,000人程度ではないかと考えている。

4 議 事

(1) 庁舎の現状と課題の把握について

- ・事務局から資料3に基づき、上位関連計画・位置づけ・計画条件・現庁舎の課題について説明した。

〔説明概要〕「社会動向」では、人口推移、地方分権、安全・安心な社会、環境に配慮した社会について記載している。「上位関連計画」では、第4

次越谷市総合振興計画、都市計画マスタープラン、越谷市中心市街地活性化基本計画における庁舎の位置づけを示している。「計画条件」では、市庁舎の建替えまたは耐震補強における市庁舎の敷地の条件や制約、本庁舎の耐震診断結果について示している。「現庁舎の課題」では、狭隘化、分散化、平面的機能性、躯体の老朽化の進行、耐震性能が不十分であること、設備の老朽化、ユニバーサルデザインへの対応が不十分、セキュリティへの対応が不十分、情報化への対応が不十分であることについての9点を挙げ、具体的に記述している。

〔議長〕ただいまの説明について、ご質問等がありますか。

〔委員〕①4ページについて、総合振興計画の実施計画の中にも（仮称）第三庁舎建設事業が位置づけられているが、本庁舎と一体的に計画を進めるよう、再度検討することは可能なのか。②防水性能の劣化に関連して、庁舎敷地の地下水の状況はどうなっているか。また、地盤の強度はどうなっているか。③ユニバーサルデザインについて、旧ハートビル法に基づく基準には対応済みとのことだが、バリアフリー新法への対応はどうなっているか。

〔事務局〕①について、市は平成27年4月の中核市移行を目指している。移行に伴い、来庁者のためのスペースや執務室が必要となることから、（仮称）第三庁舎は喫緊の課題ということで平成27年4月までに建設することで進めている。現在は実施設計を行っており、今年の12月議会に契約案件を提出できるよう作業を進めている。②について、庁舎の東側に葛西用水及び元荒川が流れており、地下水位は高いものと思われる。地盤の強度については、比較的高い位置に支持層があるのではないかと想定している。現在、（仮称）第三庁舎の地質調査を行っており、結果が出た時点で改めてお示ししたい。③について、本庁舎は昭和44年の建設であるため、適宜改修を行ってはいるものの、完全にはバリアフリーに対応しきれていないと考えている。段差は改修済みであるが、トイレは適格状態への改修が難しい。第二庁舎はこれらの点を考慮して建設している。

〔委員〕（仮称）第三庁舎についての再検討は不可能なのか。

〔事務局〕当審議会において、（仮称）第三庁舎の面積を踏まえたうえで、本庁舎の必要面積についてご審議いただく場面はあろうかと想定しているが、（仮称）第三庁舎については、建設するというだけで進めている。

〔委員〕①設備の老朽化に関連して、防火性能はどのような状況か。②電気設備に関連して、自家発電装置の有無や供給能力の現状を知りたい。

〔事務局〕①壁は不燃性である。スプリンクラーは設置していないが、火災報知機などで検知し、消火栓や庁内に設置した消火器による初

期消火を行う。また、職員の防火訓練を実施している。②本庁舎には72KVA、第二庁舎には47.5 KVAの自家発電設備を有している。現在、庁舎全体では契約電力が850kwであることから、有事の際には全体を賄えない。東日本大震災後の計画停電時には、配線の見直しで業務系システムなど最低限の機器のみを稼働させることができたが、サーバー室や職員個人のパソコンには電気の供給ができなかった経過がある。

〔委員〕①耐震性能について、Is値（構造耐震指標）が低いということだが、本庁舎は超高層ビルの先駆けとなった霞ヶ関ビルと同時期の建設である。霞ヶ関ビルはフロアごとに改修し耐震性能を高めてきたようである。前回の会議で、小中学校の耐震改修を先行したと説明があったが、小中学校のIs値はどの程度だったのか。②本庁舎について、これまでに耐震改修の話は出なかったのか。

〔事務局〕①小中学校のIs値は確認後、次回の会議で提示させていただきたい。②平成13年に庁舎の耐震診断を行った際に、最も低い部分でIs値0.111という結果が出た。その際、耐震補強の方法を検討した経過はある。最も効率の良い方法は、1階の柱の上に免震装置を設置する「柱頭免震工法」と、在来工法を併用するもので、約38億円の費用がかかるとされた。市では、建築物耐震改修促進計画を立て、災害時の避難場所にもなる小中学校の耐震補強を優先して行ってきた経過がある。

〔委員〕現庁舎の課題の中で、省エネへの対応はどうなっているか。

〔事務局〕太陽光発電の活用とCO₂削減の観点から、第二庁舎に20kwの太陽光パネルを設置している。LED照明の庁舎内への設置はまだ無く、駐車場の照明の一部に使用している。他の省エネ方策等も考えていきたい。

〔委員〕総合振興計画の第二期実施計画に「本庁舎整備事業」が位置づけられている。3か年の計画であるが、この事業の平成27年度までのスケジュールはどうなっているか。

〔事務局〕耐震補強を行うのか、新たな庁舎への建替えとするか、審議会から答申をいただくことになる。第二期実施計画では、平成26年度に基本設計、平成27年度に実施設計という形で進めていければと考えている。

〔委員〕周辺市町との合併の可能性に関して資料の中で触れていないが、現在の状況はどうなっているのか。合併に関する記述は資料の中に加えなくてよいのか。

〔事務局〕市の人口推計などを含め、様々な要因は加味していくが、合併関係については本庁舎の検討に際して考慮していない。なお、合併に関しては具体的な話にはなっていない状況である。

(2) 庁舎に必要な機能や使いやすい庁舎の検討について

- ・事務局から資料4に基づき、庁舎に必要な機能等について説明した。

(説明概要) 庁舎の「基本構想」の段階では、目指す庁舎のキャッチフレーズ的なものや具体化した案が示されることが多い。先進事例において「基本構想」の段階でどのようなキャッチフレーズが挙げられたかを示しており、機能という形、庁舎という形で書いてある事例もある。これらを踏まえ、たたき台ではあるが、6項目の「庁舎に求められる役割」及び「キャッチフレーズ」の例を挙げた。

〔議長〕ただいまの説明について、ご質問等がありますか。

〔委員〕中心市街地活性化基本計画の中に、越谷の顔、周辺の観光資源というフレーズがある。県外の人々を含め市外から越谷市に来ていただく、このことによって、商業や工業の発展にもつながってくるということかと思う。つくば市の事例に「つくばらしさを発信する庁舎」とあるように、市外の方にもお越しいただく、あるいは越谷市をもっと良く知っていただくという観点からの役割も必要ではないかと思う。

〔事務局〕宿場町の街並み、庁舎東側の葛西用水や元荒川をはじめ水郷のまちであるというイメージを多くの方がお持ちになっていると考えている。新たな観光資源を活用したイベント等も行われている。それらを踏まえ庁舎を含んだ形として、市民の方はもとより市外にもPRできればよいと考えている。庁舎の機能については本日の議論で決定するというだけでなく、次回以降にまとめていきたいと考えている。

〔委員〕町田市事例で、市民の納得度と満足度の高い庁舎を実現とあるが、本庁舎の費用の概念については、いつ、どのような形で入ってくるのかについて確認したい。

〔事務局〕当審議会では、よりよい機能等について提案していただき、整備方針、事業方針等について盛り込んだ形で答申をいただくことになると考えている。市はその答申を尊重することとなる。予算の制約の中で必ずしも答申に盛り込まれた内容の通りとならない場合もあるが、最大限努力してまいりたい。

〔委員〕市民から見た庁舎の機能は、窓口を利用する場面が圧倒的に多い。「全ての市民に開かれた」、「ユニバーサルデザイン」等の抽象的な表現が並べられているが、今後、より具体的な表現方法が求められるものと思う。耐震補強してそれらの機能を併せ持つのか、建替えかどうかは今後の話であり、今、市民が課題としていることがどう盛り込まれるのかが求められるのではないか。

〔事務局〕市民の方がどう思っているのかは重要であり、今後そのあたりも踏まえながら、表現等を考えていきたい。

〔委員〕来庁者が1日平均2,000人であることと、立地状況を考え、都

市計画マスタープランや中心市街地の位置づけからすると、庁舎近辺が周辺の土地利用について中心的な関わりをしていかななくてはならないと理解している。しかし、平成 35 年をピークに人口減少に入ると想定されている中で、庁舎の役割をどう考えていくのか。本市では市内 13 地区で地区まちづくりが推進されており、地域のコミュニティの拠点施設として、公民館の地域コミュニティ、生涯学習、防災救援、地域福祉という 4 つの機能と、地域に根ざした行政サービスが求められている。本庁舎のあるべき姿について、コンパクトな形の中でどう示すのか。容積率の緩和要件等も取りざたされている中で、利用実態に則した大局的な展望が言葉の中に入って来たほうがよいのではないかと考えるが。

〔事務局〕 将来を見据えた中で、各地区の地区センター・公民館の利用方法、それに伴って本庁舎で必要となる機能等を含めて検討し、よりよい庁舎となるように考えていきたい。

〔議長〕 主な論点として挙げたのが、1 点目として、本庁舎と地区センター・公民館等とのネットワークのあり方が本庁舎の機能と密接に関わってくるということ、2 点目に、費用については当審議会では検討しないということ、3 点目には越谷らしい庁舎をどのように作り上げていくか、ということだと思えます。

ただ今のご意見等を踏まえて次回以降、引き続き審議を進めていきたいと思えます。

(3) 先進地視察について

・事務局から資料 5 に基づき説明した。

〔説明概要〕 先進事例として、各市の庁舎について、整備状況・特徴・各階の配置・写真等を記載した。

〔議長〕 ただいまの説明について、ご質問等がありますか。

〔委員〕 可能であれば、設計者及びその選定方法、空調方式やエネルギー活用の方法、坪あたりの単価も示してもらえば、今後の検討に有用と考える。

〔事務局〕 可能な範囲で資料に盛り込みたい。

〔委員〕 併せて、市民の方が自由にアクセスできるラウンジ等を含めた面積の割合がわかれば、可能な限り盛り込んでもらいたい。

〔委員〕 建替えの事例が並んでいるが、本市と同じような状況で耐震補強をしながら存続している事例も、比較のために示されているとよい。

〔委員〕 併せて、掛川市庁舎のその後や、邑楽町役場の設計者変更などについての資料もあれば参考をお願いしたい。

〔事務局〕 耐震改修を行った事例については次回用意する。掛川市・邑楽町の事例については検討させていただきたい。

〔議長〕先進地視察についてですが、日程及び視察先は私に一任させていただきますと思いますがよろしいでしょうか。

〔各委員〕（異議なし）

〔議長〕その他、全体を通して質問はありますか。

〔委員〕今後どのようなスケジュールで議論をしていくのか教えていただきたい。

〔事務局〕審議事項については第1回会議で説明した通りである。本日は現庁舎の課題と必要な機能等について審議していただいた。8月下旬には先進地視察を予定している。3回目は必要な機能等のまとめ、建替えか耐震補強するかの整備方式の検討、事業方式などの検討を行う。4回目は規模と配置位置の検討、駐車場を含めた敷地の利用計画の検討を行い、5回目で土地利用についてある程度の方針を定め、整備スケジュールを検討いただく。6回目で答申の案を検討し、7回目に答申というスケジュールを予定している。

〔委員〕PFIを含めた検討とあるが、豊島区役所のような例はどうか。

〔事務局〕可能な範囲で資料を揃えたい。

5 その他

〔議長〕事務局から連絡事項などあればお願いします。

〔事務局〕第3回の日程は、10月1日（火）午後1時30分から、今回と同じ会議室での開催を予定している。

この後、希望する委員はお残りいただき、市庁舎の見学を行う。本庁舎1階ロビー、議場、執務室及び通路、危機管理課の各種機器類、サーバー室等を見ていただく。

6 閉会